

中学校第2学年 英語科学習指導案

学習指導者 坂出市立東部学校 石本 康德

1 単元名「Our Project4 -海外でヒットするラーメンのCMを作ろう-」

2 単元計画(総時数 5時間【本時5/5】)

- | |
|---|
| ○ 売り出し中のラーメンのCMを聞き、その特長や伝え方を理解する。(1時間) |
| ○ ALTの友達に紹介したいラーメン屋を選び、プレゼンに向けて特長を調べる。(1時間) |
| ○ 調べたものを整理し、翻訳機能を使いながら台本を完成させる。(各グループ、探究活動として) |
| ○ プレゼンテーションを行い、フィードバックを行う。(1時間) |
| ○ 他グループのプレゼンテーションを視聴し、良さや取り入れたいことを考える。(1時間) ※本時 |

3 授業の見どころ

本時は、他グループのプレゼンテーションの良さ(言語面【どのような表現が相手に伝わりやすいのか】、プレゼンの構成【相手が知りたい情報に基づいて順序立てているか】、表現面【表情、声、間などの技術、視覚ツールが有効に活用できているか】)を見つけ、伝え合う活動を通じて、自グループの良さを再確認できるとともに、他グループの良さの中からどの部分を取り入れようか考えることができる単元である。

単元末に「海外でヒットするラーメンのCMを作る」と設定されているが、以下の理由により変更している。

・架空の企業の募集に応募し、採用を目指す設定されているが、伝える相手が抽象的かつ、生徒にとって身近ではない。

・どのようなラーメンを考案するか、自由度が高く魅力的な単元であるが、生徒の実態から不自然な素材やトッピングを考案する可能性があることや、海外の人が実際に求めるものを裏付けし、CMを構成することは難易度が高い。

上記の理由から、生徒が学習課題をより身近に感じられるよう設定し直し、「ALTの友達が坂出市に来ることになったが、坂出市のおいしいラーメンを食べたいとの要望があり、ALTはおいしいラーメン屋を知らず、困っている。そこで我々が坂出市のラーメン屋を紹介し、ALTが自信をもってその店に連れて行けるようにする。」とした。

本単元では、新たな取組みとして、単元を2分割して実施する。

<①>プレゼンテーションを行う上で基本的な技術を学ぶ。特に、「言語面」=どのような表現が相手に伝わりやすく、心に残りやすいのか、「構成面」=相手が知りたい情報をもとに、順序立てて文章を構成すること、「表現面」=表情、声、間、スピード、有効な視覚ツールを用いること等、ワークシートを通じて学ぶ。

<②>「①」終了後は通常通りProgramを進め、発表1~2週間前を目途に本単元に戻る予定である。台本を作る過程において、生徒自身の自発的な探究活動を促す意図があり、台本作りは宿題として提示する。グループ内で伝える箇所を役割分担しており、各々が原稿を考える。ただし、配慮が必要な生徒が複数人在籍しているため、スモールステップを意識して期日を設け、グループ内で共有する時間や、教師が指導、助言する時間を随時設ける。

また、2学期より帯活動として、上記の構成面を意識させることを目的として、「順序立てて説明する」活動を取り入れている。その活動の一つとして「自身がおすすめのラーメン屋」を紹介する活動を実施し、この単元に入っている。自分のおすすめのラーメン屋を紹介することは「自分が伝えたいこと」が重視されるが、ALTの友達が喜ぶラーメン屋を紹介することは「相手意識」をもってプレゼンテーションを構成する必要がある。この2つのおすすめ紹介を経験することで、自分が伝えたいことに加え、相手意識をもつことの大切さに気付かせたい。

本単元のゴールは「グループで協力し、順序立てて物事が紹介できる」としているが、最終的には自分自身でそれができることを長期目標としており、パーフェクトイングリッシュでなくても英語を話し、自分の伝えたいことや、相手が知りたい情報を積極的に伝えようとする姿勢を日々育てている。

4 本時の学習指導

(1) 目標

他グループのプレゼンテーションの良さを見つけ、伝え合う活動を通じて、自分の良さを再確認したり、他者のどの良さを取り入れるか考えたりすることができる。

(2) 学習指導過程

学習活動と児童の意識	教師の指導
1 学習課題を確認する。 プレゼンテーションでは各グループが目標に沿ってできていたね。では、今日は他グループの動画を見て、良さを見つけて伝え合う活動をするよ。以下、ポイントを確認しよう。	○ 動画を振り返る際のポイントは以下である。 ・言語面=どのようなフレーズを使用しているか。 ・構成面=相手の知りたい情報をもとに、文章の構成(順序立て)ができているか。 ・表現面=ワークシートの項目を満たしているか、また「誰の」、「何が」、「どのように」良いか。
他グループのプレゼンテーションの良さを見つけ、伝え合う活動を通じて、自分の良さを再確認したり、他者のどの良さを取り入れるか考えたりすることができる。	
2 他グループの良さを見つけ、まとめる。 <手順> ① グループ全員で「言語面」に注目して視聴する。 ・視聴するのは1グループのみ(動画を撮ってもらったグループ)に限定している。 ② 「構成面」、「表現面」に注目して視聴する。 ③ まとめたものは学習支援アプリで共有できるようにする。 計 20 分	※ 「言語面」について、導入で「I'm going to talk about... / Let me tell you about...」のような表現が頻出するが、導入は全体で繰り返し確認、練習した箇所であることから、適切に使用できているか確認することが望ましい。 ○ 下記は学習支援アプリを使用してまとめる。 ○ 役割分担をして進めるが、「3」の活動で一人必ず一言は話せるように指示しておく。 ○ 「構成面」では、まず相手の話を理解することが必要不可欠である。その上で、相手(ALT の友達)の知りたい情報が含まれているのか、また文章構成(順序)は適切であるか(わかりやすいか)を考えさせる。 ○ 「表現面」では、具体的に「誰の」、「何が」、「どのように」良いのかまとめる。プレゼンをする上でどのような態度、表現が望ましいかは既習済であり、ワークシートに沿って確認していくとスムーズに進められる。
3 まとめたものを伝え合う。 ① 「言語面」、「構成面」、「表現面」での良さを伝えあう。 計 5分	○ 「3」の目的は、自身の良さを改めて知ること、喜びを感じたり、自身の発表をさらによくするために新たな視点を得たりするためである。
4 フィードバックを行う。 ① 「3」①の 3 観点で、特によかったものを教師が紹介する。 計 5分	○ 「3」の活動で、良さを十分に伝えきれなかったり、表現できなかったりすることも想定できることから、教師からのフィードバックを行うことでその漏れをカバーし、生徒がどの良さを取り入れようか考えられるよう、選択肢を増やすことを目的とする。
5 他グループの、どの良さをどう取り入れようか考える。 ① 3観点のうち、どの部分が良かったのか。 ② 逆に、修正すべきポイントはどこで、なぜなのか。 ③ 最終的に、相手の知りたい情報に沿って順序立て、わかりやすい構成になっているのか。 計 20分	<評価基準> ○ 本時を通じて、自他グループの良さを確認することができたか。 ○ プレゼンの構成を見直し、他者からのアドバイスを参考にし、よりよい内容に修正しようとしているか。 ○ ALTにプレゼンをすることが最終目標である。ALTの友達が知りたい情報であるか再確認し、伝えるためにどのような表現が必要なのかグループで検討しているか。